

「やさしい算数・数学」活用事例 外国人散在地域の民間団体での活用

#外国人散在地域 #民間団体 #NPO #個別支援 #中学生



教材ダウンロードは
こちらから



団体概要

- ・ 活動地域：福島県郡山市（外国人散在地域）
- ・ 活動内容：学習支援
- ・ 活動頻度：月2回、2時間（14:00～16:00）

対象の子ども



Jくん
フィリピン出身の中学3年生。中1になるタイミングで来日。
家庭での言語はタガログ語と日本語。
日本語は日常会話レベル。



やさしい算数・数学の活用

対象の子は日常会話は問題ないものの、日本語での学習は難しく、教科書や参考書の表現を用いた説明では内容理解が困難です。また高校受験の準備として、学校の宿題が多く出され、それをこなすためには「過去の復習」が必要です。そのため既習範囲の復習として「やさしい数学」を活用しています。



支援者の声

Q. 教材を使うメリットは？

A. 自主学習の補助教材として非常に良い。

対象の子は、学習意欲が高く一人で学習を進められますが、日本語が多くなると進められなくなります。その点「やさしい数学」は日本語が非常に少ないため、一人で学習を進めていくに、最適な教材だと思います。

また、「なぜその答えになるのか」を考える際にも日本語が少ないため、子どもが自分で考えることができるようになっていて、これが一番便利です。高校受験を控えている中で「いつでも立ち戻れる補助教材」として、活用しています。

Q. どんな変化がありましたか？

A. 問題が解けると「自信」がつく。

日本語が少なく、学習を進める中で分からない言葉も調べやすいため、支援者がついていなくても、子どもが自分で進められやすい教材です。

「やさしい数学」を活用しながら、ちゃんと理解をして問題が解けるようになると「自信がつく」と思います。もし途中で分からなくなったら、何回でも同じ単元を学習することも良いです。もともと学習意欲が高い子であるため、問題が一つでも多く解けるようになることを通して、もっと自信をつけてもらえればと思います。